



《金沢龍馬会 新年会》

日時：1月22日（月）18：00

場所：金沢ニューグランドホテル

金沢龍馬会新年会が開催されました。尾山神社の神門が真ん前に見える中華レストランでした。

参加者

小屋/中川/玉井/蛭子/宇賀/中田(俊)/佐藤/守山/大坪/吉田/紐野/富来/油谷/勝田/中城/寺元/山崎/周藤/西(三)/小幡/中田(文)/谷/濱/池田/熊野/永崎/東(寿)/那波/橋場

計29名と雪模様にもかかわらず盛況でした。

討論会：「農業について」 中田俊郎氏より問題提起がなされ、主に農薬について討論しました。

医学、農業、農薬の各専門家（元専門家を含む）から意見が出されました。

それぞれの立ち位置から農薬への見解・対応が違ったようですが、それはしごく当然のことと申せましょう。

今回は時間も短かったので次回また機会があれば続編を行いたいと存じます。

（中田氏作成のレジメがあります。ご興味がある方にはメールします）

引き続き親睦会が行われました。新入会員3名の自己紹介をおこないました。

色々な業種の方に新規参加いただきました。

龍馬会が益々豊かになると思われれます。その後、福引をビンゴで行い、中田さん提供の篆刻印をはじめ各種の景品を引き当てました。

紙上を借りて御礼申し上げます。

今後の予定です。

総会 6月2日（土）桜はなび

イカ-ジョ： 県立美術館開催の日展、総会、講演 中田俊郎氏

北陸三県大会

9月1日（土） 岩間温泉山崎旅館

講演： 勝海舟玄孫の高山みな子さん

【会員のつばやき】

“今一度、先人の足跡に触れよう”

小幡謙二



今年は明治 150 年とか～近代史を振り替えるにはいい機会だ。

とはいえ大東亜戦争が折り返しとなる。

明治維新から 75 年は世界史に類を見ないスピードで社会も日本も変わった。

しかしながら戦後、同じくらい費やしなが、ことにここ 30 年位は逆に日本の地位は下がっている。



あの明治期のスピード感は何だったろうか～
私は吉田松蔭が大好きだ。

あの時代に身分を超え学びあい、朱子学、陽明学、孫子兵法、言志四録を習得したらこそ維新はなし得たのでは。無論、龍馬や西郷もいればこそ。

これらの御仁は命と引き換えに明治の扉を開けた。今はどうだ。今一度、先人の足跡に触れて、日本のこれからを知る明治 150 年としたい。

まるわかり「龍馬入門講座」 ⑫

これは 2010 年 NHK テレビで放映された大河ドラマ「龍馬伝」が始まる前、坂本龍馬を紹介する為長崎国際観光コンベンション協会が作ったパワーポイントです。今回連載に際し吉田が若干編集しました。(本掲載は金沢龍馬会内部のみです)

25、1867 年 6 月 9 日、いろは丸賠償問題の決着を見届けた龍馬は、土佐藩参政の後藤象二郎とともに土佐藩の蒸気船「夕顔」に乗船して、長崎を出港します。龍馬と後藤は船中で大政奉還の方策を協議します。それが、のちに「船中八策」と呼ばれることになる新政府構想です。

船中八策

・ 1867年6月9日、土佐藩船「夕顔」で
後藤象二郎と長崎出港

・ 船中で大政奉還の方策協議

新政府構想「船中八策」と呼ばれる

- ①大政奉還
- ②二院制議会
- ③人材登用
- ④不平等条約改定
- ⑤憲法制定
- ⑥海軍拡張
- ⑦御親兵設置
- ⑧金銀交換比率改定

高知市仁井田神社の絵馬

成文化された内容は 8 カ条にわたり、

- ① 大政奉還
- ② 二院制議会
- ③ 人材登用
- ④ 不平等条約改定
- ⑤ 憲法制定
- ⑥ 海軍拡張
- ⑦ 御親兵（ごしんぺい、後の近衛）設置
- ⑧ 金銀交換比率改定が記され、新政府の基本原則を明示したものとしては、もっとも早期にして画期的内容です。

薩摩はこの時点では武力倒幕の方針を固めていましたが、後藤や龍馬の唱える平和裏に政権を委譲するこの案に異論は出ませんでした。

もっとも薩摩藩が武力倒幕の方針を放棄したわけではなく、土佐藩のお手並み拝見といった部分もあったのですが、幕府とも薩長ともパイプを持つ土佐藩は、ここにおいて政局の主導権を握る立場となりました。

その後土佐藩主：山内容堂を通じて「大政奉還」の建白書が提出され、徳川慶喜は、以外にもあっさりそれを受け入れ、ここに、二百数十年の徳川政権は終わりを迎えます。

《富山龍馬会講演会 報告》

2 月 11 日、恒例の富山龍馬会講演会が開催されました。

昨年と同様、高知の「龍馬の生まれたまち記念館」学芸員森本琢磨氏が「西郷どんと土佐」という演題で講演をされました。

西郷隆盛の生涯を詳しく紹介されました。その中で土佐人である龍馬、山内容堂、後藤象二郎、板垣退助、近藤長次郎と関連付けて解説されました。更に時々流布される西郷による龍馬暗殺黒幕論についての私見も述べられました。

現在大河で「西郷どん」が放映されていることもあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

その後、駅前に移り「さかな屋 撰鮮」で交流会を開催しました。

【編集後記】

皆さま、今年も宜しくお祈りします。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。会報も第 15 号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会長代行：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

